

2017年10月3号

主体性と責任感・・・

松原のりかず 9月議会4番目の質問 細江市政の総括

岐阜市議会本会議（9月20日）松原のりかずは、伊藤哲さん自死の公務災害問題、メディコス雨漏り問題（10月4日・29回目）、3番目に「子どもの貧困を課題として、学校給食の無償化」問題、そして最後に細江市長の政治姿勢 について質問。

以下、市長の政治姿勢についての質問です。

岐阜市都市創造会議 の 座長報告 を聞いて

分野「子育て」の座長報告で、「ひとり親世帯（こども）」への支援策として、新しく「インターネット学習支援」の開発を発言されました。子どもさんに、支援型への「選択肢」を用意するとの発案です。しかし、創造会議そのものの提出資料によれば、全国資料で母子世帯のパート・アルバイト率は47.4% 平均年間就労収入は181万円です。（平成23年国民生活基礎調査で、児童のいる世帯の平均所得は、約681万円）母子家庭の貧困度合いが確認できます。

パソコン購入し、インターネット使える環境に、今、母子家庭あるの？

現在、就労には携帯、スマホは必需品で、通信手段がなければ就職も出来ません。年間所得181万円で、スマホを所持しNTT等へ通信費支出し、一方家庭では子どもさんへパソコンを買い、インターネット通信費を準備出来る家庭は多く存在するのでしょうか？ 提案が経済実態と遊離した閃きになっていないか？

半世紀前に出来た 羽島駅から シャトルバスを走らせる？

JR 岐阜駅前の開発で売りにしたのは、岐阜駅から JR に乗れば、名古屋の栄まで約30分もすれば着きます、名古屋市内居住者より早く到着する、との利便さでした。新幹線を利用するにも名古屋駅は本数も多く、「のぞみ」も止まり便利の比較をするまでも無く、合理的。ですが、

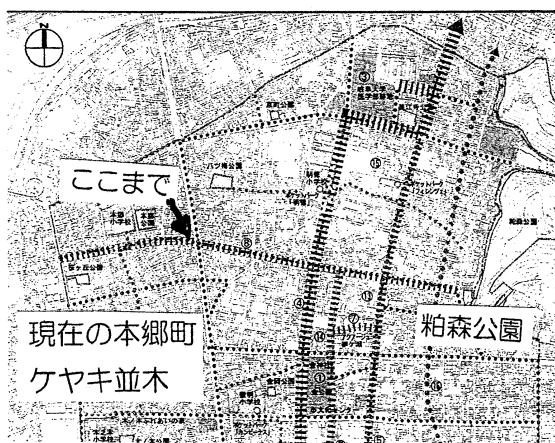
経済分野の座長報告で、「新幹線の羽島駅から岐阜市までシャトルバスを走らせよ」と提案された。半世紀前に出来た岐阜羽島駅が、なぜ、現在もこの状態なのかの検証はされたのでしょうか？ シャトルバスには果たして、何人乗車頂けるのか。バス代は誰が払うのか。税金の支出がされるのか？ 報告をお聞きして、驚いたのは松原のりかずだけではないでしょう。

連絡先 市議会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500

雨漏り29回のメディアで 「設計者の本売れ」と・・

座長報告の最後の発言が、これです。「有名な伊藤さんの設計のメディアコスモスに来て、買う物が無い。伊藤さんの本をここで売れば買って行くので、消費を促し、地域に還元できるのでは」市民交流分野の座長です。

完成検査以前の雨漏りを入れれば30回を越すかもしれない不良品。24億円の最終支払い金を受け取りながら、いまだに雨漏りが直らない。戸田建設は、暗に設計の不備をほのめかしている。設計者の責任は重大だが、座長は新聞を読まれているのだろうか。



1メートルも進んでいない「緑の基本計画」
平成21年に市長が当時の河島都市建設部長とまとめられた「緑の基本計画」。よれば、「本郷のケヤキ並木の延伸」が図面に、粕森公園まで青色で引かれている。しかし、本郷のケヤキ並木は1メートルも前進していない。(左図・緑の基本計画の第8章 緑化重点地区の計画図から)

そこで、市長の政治姿勢について、以下2点伺います。

- 1 有識者会議方式でいろいろな提言を発表されているが、責任の所在が曖昧な政策手法が続いていないか？ 政治姿勢は首長の主体性が大切と考える。細江市政に主体性と責任感は存在しているのか。
- 2 緑の基本計画は、細江市長が河島建設部長とまとめられ方針だが、ケヤキ並木は1メートルも前進していない。16年目の任期は、まじかに切れるが、このまま終わるのか。



松原のりかず
☎058-253-2500